

提出 順番	No. /	令和 6年 2月 20日 午前・ <u>午後</u> / 時 40分
----------	----------	---------------------------------------

令和 6年 2月 20日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 野原恵子 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
町民と共に防災対策の強化を	<p>1月に能登半島地震が発生し多くの命が失われ、断水・停電・家屋の倒壊などで過酷な避難生活を強いられています。防災計画のあり方について、室崎益輝神戸大学名誉教授は「国は断層の調査を行ってきましたが、能登半島ではその作業が遅れていた。地域の高齢化や過疎化といった社会情勢の変化を反映できていなかった。自治体職員が被災し、すぐに対応できないケースもある。職員が少ない中でいかに被災者救援にあたるかも用意すべき」と語っています。能登半島地震の教訓と課題を検証し町の防災対策に反映させていくことが必要です。</p> <p>町は今後 30 年以内に内陸型地震ではマグニチュード 8.0 程度の発生確率を 0.1%から 0.2%、海溝型地震ではマグニチュード 8.8 以上の発生確率を 7%から 40%と予想し、地震・津波防災計画を策定していますが、マグニチュードの想定では、能登半島地震に匹敵します。</p> <p>行政の防災計画は、①計画の評価・チェック・対策などの目標管理を徹底する。②実践的訓練で内容の習熟度をはかる。③災害の教訓に学び持続的改善をはかるなど点検が求められます。</p> <p>さらに、行政が正しい対応を行うためには、町民の状況や声を的確に把握する必要があります。また、町民が正しい対応を行うのは、行政のもつ情報を的確に伝え、双方向のリスクコミュニケーションが必要です。そのことにより、さらに防災対策が充実し町民の命が守られます。</p>

	<p>以下、次の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 地域防災計画について<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 自主防災組織の組織率は。</li><li>(2) 要支援者(高齢者・障がい者など)の個別避難計画の進捗状況は。</li><li>(3) 防災訓練の平日・夜間・冬期の実施状況は。</li><li>(4) 女性の視点で防災対策の充実が求められている。町の防災会議の女性の比率は。</li><li>(5) 会計年度任用職員を含め、全職員で防災対策の体制を図る考えは。</li></ol></li><li>2 命を守るために必要な、給水・食料・居住・保健など国際的な「スフィア基準」に基づいた避難所に<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 対象区域の人数に見合った避難所の確保の考えは。</li><li>(2) プライバシー確保のためミニテント・女性用トイレなどを充実する考えは。</li><li>(3) 関連死を招かない対策の考えは。</li></ol></li><li>3 温暖化の影響で猛暑に見舞われている。避難所にエアコンを設置する考えは。</li></ol>
--	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。